

平成16年度に初代ふらのカレンジャー娘が誕生してから、これまで82名が任命されており、現在15代目が活動しています。10代目の時に、ふらのカレンジャー娘同窓会を開催し、子どもたちを連れたOGたちが集まり、活動の継続性を実感しました。

ふらのカレンジャー娘は北海道富良野緑峰高等学校の園芸科学科に通う生徒から選出されるプロジェクト学習班の一つとして活動しています。地域の課題を見つけ、それを解決していく活動を実践し、自己の成長と地域の活性化を図る学習で、ふらのカレンジャー娘は、富良野オムカレーを通して、地域活性化を図る専攻班です。園芸科学科に入学してくる生徒の中には、カレンジャー娘になりたいと希望する生徒も多く存在します。

富良野市は北海道の中心に位置し、寒暖の差が激しい気候と肥沃な大地であることから、おいしい農畜産物が豊富に採れる地域として、農業が盛んに行われている地域です。富良野市の新ご当地グルメ「富良野オムカレー」は、富良野地域の農畜産物の魅力を活かしたオムライスとカレーを合わせた新感覚のグルメです。6カ条のルールを設け、他のグルメとは一線を画した地産地消にこだわったグルメです。富良野市はドラマ「北の国から」で観光地として有名となったものの、おもてなしグルメの存在がなかったことから、富良野オムカレーは当初、観光客向けのおもてなしグルメとして開発されました。次第に認知度が上がり、現在では地元市民から愛される富

まちむら発見①

富良野オムカレーを ツールとした地域貢献活動

北海道富良野市 ふらのカレンジャー娘（北海道富良野緑峰高等学校）



地元小学生とのオムカレーづくり交流

良野のソウルフードとしての富良野オムカレーを目指して様々な活動を展開しています。

富良野オムカレーを通して、ふらのカレンジャー娘は、これまで、以下のたくさんの方々の活動を企画・継続的な実践を行ってきました。

①各種メディアへの積極的な情報発信による富良野オムカレーのPR活動

・ハウス食品㈱の北海道限定のCMへの出演、各種TV番組等への出演

・北海道新聞社や日本農業新聞への記事掲載
・各種雑誌への記事掲載

②季節の食材をトッピングしたオムカレーの試食会
・平成24年からスタートした企画で現在7年目の取組み
・ハウス食品㈱、エスフーズ北海道㈱、コープさっぽ

ろ富良野店、富良野オムカレー推進協議会等の関係企業・機関と連携した取組みとしてスタート、年3回実施予定

・オムカレーの試食提供、アンケート調査、ふらのカレンジャー娘通信の発行等

・「家族で考えよう！マイホオムカレー」を継続実施。家族で考えたオムカレーを応募して、カレンジャー娘が選考し、粗品と試食会時のメニューとして採用する特典があり、富良野オムカレーと市民をつなぐ取組み

③オムカレーを通した世代間交流

・地産地消に関する地元幼稚園・小学校・中学校との連携学習

・同志社女子大学社会システム学科の学生との地域づくりをテーマとした交流

・多世代が集まる市民グループとの交流活動

④地元イベントでのオムカレー提供・PR活動

・北海へそまつりにおけるガス協会との連携によるオムカレー提供

・ふらのワインぶどう祭りでのオムカレー提供

・新ご当地グルメグランプリ北海道への参加

・ワンデーシェフレストランで富良野オムカレーを提供。地元喫茶店を1日貸し切り、富良野オムカレーの6カ条のルールに基づいたカレンジャー娘特製の富良野オムカレーを市民に提供

⑤オムカレーに絡んだ商品開発

・ローソンやセブンイレブンと連携したオムカレー風



企業との連携によるオムカレー風パンのPR



市民への地産地消オムカレー試食会



ファミリーサポート事業のオムカレー作り体験への協力

弁当の開発

・日糧製パンと連携したオムカレー風パンの開発

・富良野緑峰高等学校祭でのオムカレーに絡めた商品の企画・提供

現在では、富良野のまちづくりにとって重要な役割を担っていることを実感しており、まちづくりイベントへの積極的な参画も行っています。12代目の時には、富良野市の青少年の模範となる活動を行っていることが評価され、「富良野市青少年表彰」を受賞しました。また、地産地消優良活動表彰北海道農政事務所長賞を受賞し、地元農畜産物を通じた地域活性化が評価されました。

株式会社道銀地域総合研究所が、平成26年度にオムカレーに関する地域活性化効果を調査した結果、約14億円の経済波及効果があると試算されました。特に、各種メディアでの宣伝効果による波及効果において、ふらのカレンジャー娘が果たした役割は非常に大きいとされています。

現在、ふらのカレンジャー娘は、富良野オムカレーが地元市民に愛されるソウルフードとして、定着することを目指して活動を展開しています。そのため、オムカレーの試食会の継続的な実施、マイホオムカレーといった新企画の実施、地元イベントでのオムカレー提供、世代間交流、地元企業との連携、SNSによる情報発信などに力を入れて活動していることと計画しています。

(北海道富良野緑峰高等学校教諭 杉田慎二)